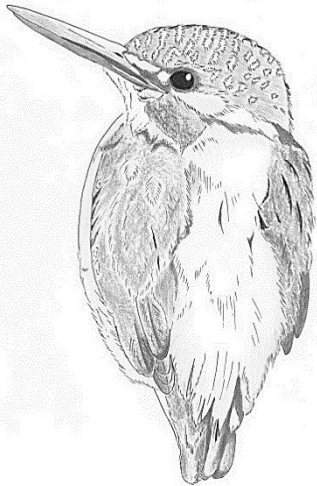




とねり自然図鑑

動物、昆虫や花などいろいろな自然の写真を「フォトクラブメビウス」の会員方にご協力いただき、毎月発行しております。写真にちなんだ「へえ〜」という情報もお楽しみに。

【撮影した岡田さんのつづやき】木の枝に止まったまま、なかなか振り返ってはくれないカワセミを待ち続け、振り返った瞬間を写真に収めました。



名称：カワセミ（翡翠）
学名：Alcedo atthis
体長：16-20cm（翼開長24-25cm）
体重：19-40g
分布：日本全土、東南アジア、
ヨーロッパ南部
主食：小魚、昆虫、ザリガニ、ドジョウ
天敵：ヘビ、ツミ（タカ科）

【宝石に例えられる美しい鳥】

○背面に光沢のあるコバルトブルーの羽衣を持ち、腹面がオレンジ色の美しい鳥であることから、「飛ぶ宝石」「青い宝石」「溪流の宝石」「水辺の宝石」「ヒスイ」など、宝石に関する呼び名を多く持ちます。雄はくちばしが黒一色で、雌は上くちばしが黒く、下くちばしが赤いのが特徴で見分けが付きやすいと言われます。カワセミは、その美しさから、写真集などの出版物も多く、俳句や短歌などでも多く詠まれます。また、埼玉県の日高市や富士見市、東京都の町田市や日野市、神奈川県綾瀬市や藤沢市など、数多くの自治体で「自治体の鳥」の指定を受けています。

【魚とりの名人】

○カワセミは、魚を主食としています。水面を見張り、獲物を見つけると猛スピードで水中に飛び込んで捕らえます。周りに留まれる場所がない場合には、翼を激しくはばたかせて「ホバリング」をすることで空中に止まったまま、水中の獲物を狙うことができます。水中に入る際には、翼をすばめて抵抗が少なくなるように、水に飛び込みます。体に比べて頭が大きいのは、勢いよく水に潜るために必要だからです。また、カワセミのくちばしは、水面に入る際の抵抗をととても少なくする構造をしています。獲物を捕ったカワセミは獲物をくわえたまま、素早く飛び去って行きます。

【舎人図書館にある参考資料の一部を紹介↓】

- 吉野俊幸 『野鳥 新ヤマケイポケットガイド6改訂版』 山と溪谷社
- 嶋田 忠 『カワセミ チューさんと青い宝石』 平凡社
- 小宮輝之 『里山の野鳥ハンドブック』 NHK出版

毎月集めて、舎人地域学習センター・図書館のオリジナル図鑑をつくろう！